

一般社団法人日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 35 回 リサイクル燃料貯蔵分科会 (F4SC) 議事録

1. 日時 2016 年 5 月 12 日 (木) 10:00~11:40
2. 場所 日本原子力発電株式会社 本店 第 4 会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
(委員) 木倉, 白井, 松本(務), 松岡, 大岩, 入江, 水谷, 清水, 影山 (開始時 9 名)
澤 (途中入室 1 名)
(欠席委員) 小佐古, 長田, 佐伯 (3 名)
(常時参加者) 吉村, 蓬田, 樋口, 下条, 本田, 広瀬, 堂守, 野島, 石川 (竜) (9 名)
(欠席常時参加者) 石川(智), 菱田, 大野 (3 名)
(委員候補) 浅見, 亘, 山根 (3 名)
4. 配付資料
F4SC35-1-1 人事について (リサイクル燃料貯蔵分科会)
F4SC35-1-2 人事について (原子燃料サイクル専門部会)
F4SC35-2 第 34 回リサイクル燃料貯蔵分科会議事録 (案)
F4SC35-3-1 標準委員会の活動状況
F4SC35-3-2 原子燃料サイクル専門部会活動状況
F4SC35-3-3 原子燃料サイクル専門部会 標準策定スケジュール (案)
F4SC35-4-1 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 1, 2 準備会合議事メモ
F4SC35-4-2 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 1, 2 準備会合検討結果
F4SC35-4-3 リサイクル燃料貯蔵分科会における作業会の設置について (見直し提案)
F4SC35-4-4 リサイクル燃料貯蔵分科会 作業会 1 の委員、役員及び常時参加者について
F4SC35-4-5 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準」改訂に係るアンケート (案)
F4SC35-5-1 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 2 の準備状況
F4SC35-5-2 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 3 の準備状況

参考資料

F4SC35-参考 1 標準委員会 専門部会運営通則他

5. 議事

主査の退任に伴い、木倉副主査による議事進行が行われた。

幹事により出席者の確認が行われ、決議に必要な 2 / 3 以上の委員数を満足している旨の報告があった。

幹事により資料の確認が行われた。

(1) 人事について

- 委員退任の報告及び新しい委員の紹介が F4SC35-1-1 に基づき行われ、決議により委員が選任された。
- 主査退任に伴い、新しい主査の出席委員による無記名投票が行われ、木倉副主査が選任された。副主査に浅見委員候補、幹事に白井委員が指名された。
- 前回の分科会で報告及び承認された常時参加者の人事については、前回の標準委員会に F4SC35-1-2 により報告及び承認がなされたことが報告された。

(2) 前回議事録確認

- 前回議事録（案）として F4SC35-2 の確認が行われ、承認された。

(3) 標準委員会、専門部会の活動状況について

- 幹事より、標準委員会及び原子燃料サイクル専門部会での本分科会に関連する事項の報告状況について、F4SC35-3-1, F4SC35-3-2, F4SC35-3-3 に基づき報告が行われた。

(4) 標準改定案の検討

- 松本委員より、作業会 1（金属キャスク 短期的課題対応）及び作業会 2（金属キャスク 中長期課題対応）の合同準備会会合の状況について、F4SC35-4-1 に基づき報告が行われ、次回改定対応では技術的に十分な検討を行うため、当初目標より時間を掛けて検討・改定を行っていくことの報告があった。
- 松本委員より、作業会 1 及び作業会 2 の準備会合検討結果について、F4SC35-4-2 に基づき報告が行われ、作業会 1 では 5～7 月に掛けて、アンケートも行いながら、改定の検討が必要な項目／内容の検討、短期／中長期課題の分類、作業会メンバーの増強検討及び作業方針／スケジュール策定を行っていくことの提案がなされ、承認された。
- 上記議論における主なコメントは以下の通り。
 - ・ 標準の誤記修正のみ正誤表で行うことは可能か。→正誤表の形で修正することも可能であるが、本分科会で扱っている標準は改定検討作業に入っていることから、その中で誤記チェックも行っていく。
- 幹事より、作業会 1 で短期／中長期課題の分類を行うことになったこと等を踏まえ、作業会の所掌の見直しについて、F4SC35-4-3 に基づく提案が行われ、作業会 1 に「短期的課題（次回改定事項）と中・長期課題の分類」を含めること、作業会 2、作業会

3の開始時期について補足を記載したこと等の説明がなされ、承認された。

- 作業会1の委員、役員及び常時参加の紹介がF4SC35-4-4に基づき行われ、決議により委員及び主査が選任され、副主査、幹事の指名、常時参加者の登録の確認がなされた。
- 松本委員より、金属キャスク標準の改定に係るアンケートについてF4SC35-4-5に基づく説明がなされ、当分科会の委員及び常時参加者、作業会の委員及び常時参加者に対して一次締め切り期限を5/20として、アンケートを行うことが承認された。
- 議論における主なコメントは以下の通り。
 - ・ 明確化の観点からアンケートの表紙に配布対象者を記載した方が良い。
→ 拝承。
 - ・ 改定必要性欄に記載する記号の説明は、誤解が生じないよう適切な表現に見直した方が良い。
→ 拝承。
 - ・ 福島事故の観点からの反映はどのように行っていくのか。
→ 福島事故の観点からの反映が必要な事項があれば、アンケートに記載して欲しい。
また、作業会1でも福島事故の反映の視点は持って検討する。

(5) 作業会2、3の準備状況について

- 松岡委員より、F4SC35-5-1に基づき作業会2の準備状況について、大岩委員よりF4SC35-5-2に基づき作業会3の準備状況について報告がなされた。なお、作業会2の参画希望者の記載について一部修正が必要なため、別途、F4SC35-5-1の資料の改訂版を配布することとなった。

(6) その他

- 次回分科会は2016年8月3日(水)13:30～開催することとなった(場所は別途、調整)。

以上